

経営比較分析表（令和6年度決算）

茨城県 五霞町

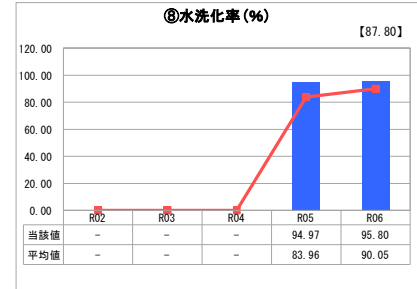
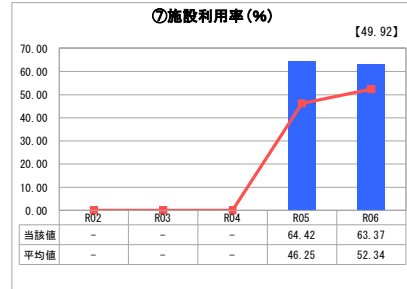
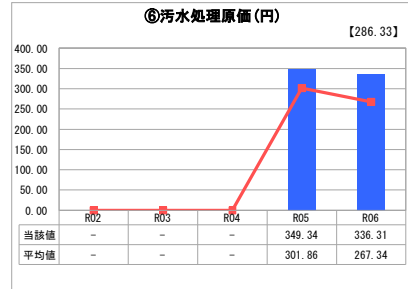
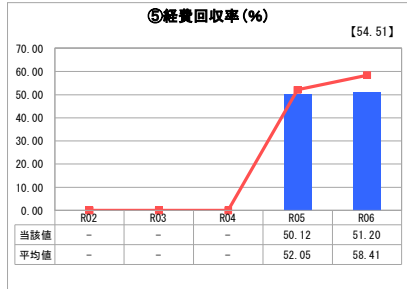
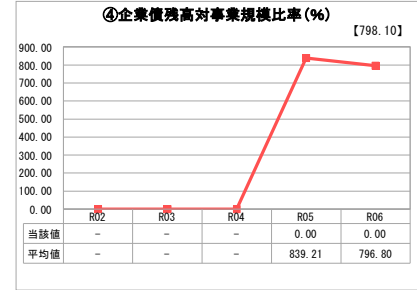
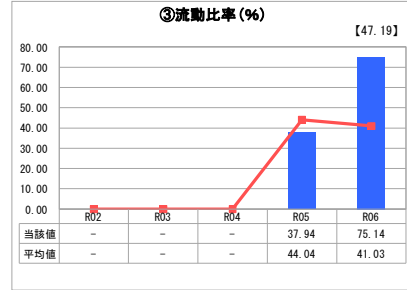
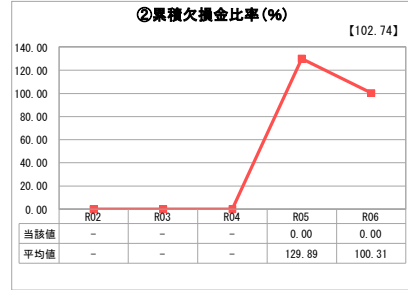
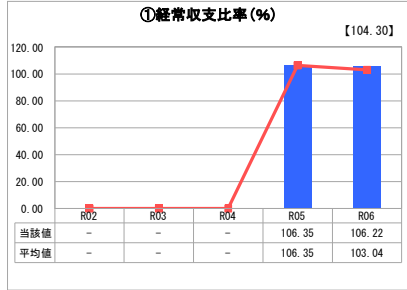
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	84.57	28.72	81.26	4,015

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,933	23.11	343.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,260	2.21	1,022.62

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

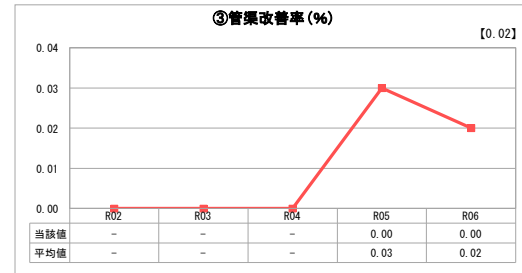
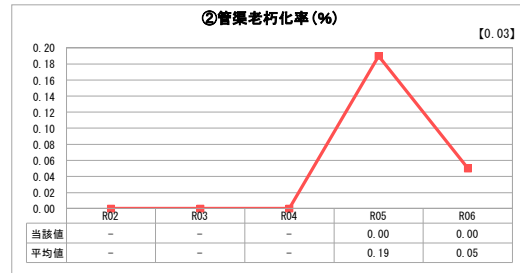
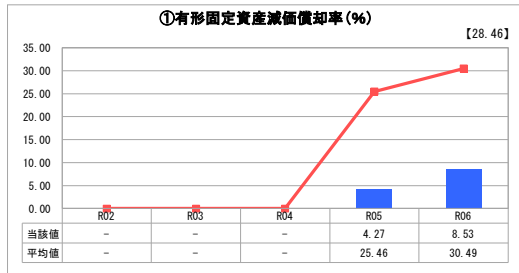
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、使用料収入や一般会計繰入金等の収益で維持管理費や企業債利息を賄っており100%を超えているが、一般会計繰入金に依存している。
- ② 累積欠損比率は0%であるが、一般会計繰入金に依存している。
- ③ 流動比率は平均値を上回っているが、短期的な支払能力を高めるため、内部留保資金を確保する必要がある。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債は一般会計が負担することとなっているため、比率は0%となっている。
- ⑤ 経費回収率は、平均値を下回っており、使用料収入の確保と維持管理費の削減に努める必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価は、平均値を上回っているが、維持管理費の削減に努める必要がある。
- ⑧ 水洗化率は平均値を上回り良好であるが、引き続き普及促進活動を行い、水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、法適用化後2年目であり、類似団体平均値よりも低い水準となっている。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠が存在しないため0%である。
- ③ 管渠改善率は0%であるが、今後は策定した最適整備構想に基づき、計画的に処理施設並びに管渠の老朽化対策を進める必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率は100%を超えているが、一般会計繰入金に依存している現状は、良好な経営とはいええない状況である。
今後の人口減少等の経営環境の悪化を踏まえ、広域化・共同化事業として、公共下水道事業の統合の検討など、下水道事業全体の運営効率性を進める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。